

ふれあい

地域のつながりを大切に

「おはようございます！」今日も元気な声が通学路から聞こえてきます。毎朝自然と交わすあいさつが笑顔になり、ここるところを和ませています。元気を生み、人と人をつなげ、友達や知り合いを増やしていきます。この村岡では、日ごろ「あいさつ」をする子どもたちが多くなりました。

昨年、関東甲信越地方では台風や豪雨による多くの災害がありました。地球の温暖化に伴い海水温の上昇とともに自然環境の変化がもたらした災害と言われています。被害に遭われ亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、災害を受けた方々にお見舞い申し上げ早期の復興を祈念いたします。

幸いなことに、この地域では大きな被害もなく平和でおだやかな暮らしができることに感謝し、幸せを感じます。あっては困りますが、今後も自然環境の変化や想定外の問題が起きることでしょう。地域の皆様がいつまでも幸せに暮らしていけますよう、災害による悲しみや苦しみをなくしていければと思います。

この村岡では災害とは無縁であってほしいと願っていますが、いざという時には速やかに、また適切な行動ができるよう日頃から声かけやあいさつを交わして、より一層地域の絆を深めていきたいと思っています。

むらおか・子ども相互支援会議では学校・家庭・地域が連携し絆を強くし、情報を把握・共有し迅速な活動に努めていきたいと思っています。地域の皆様、関係者の皆様、今後とも「むらおか・子ども相互支援会議」へご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



会長 石 井 陽 一

安全サポート隊

安全サポート隊部会長 山 田 勉

むらおか・子ども相互支援会議の活動の一つである、「安全サポートカード」を着用して子どもたちの見守りをする活動を「安全サポート隊」が行っています。「安全サポートカード」を着用することで、見守りという思いやりが地域の方々に伝わるような活動を少しずつすすめていくとともに、「安全サポートカード」を見かけたらあいさつを交わして、地域の笑顔を引き出せるようなまちにしていきたいと思っています。



藤沢市三者連携推進事業とは

子どもたちが健やかに成長するためには、学校だけでなく、地域全体の力が大切です。藤沢市では、学校・家庭・地域のネットワーク化を図るため、平成11年度から各中学校区を単位に「地域協力者会議」を組織し、地域特性を生かして子どもたちを支援する活動をしています。これが三者連携事業といわれるもので、市内19中学校区に15の支援組織ができています。(2校で1つの支援組織が4つあります。)

「むらおか・子ども相互支援会議」は、村岡・藤ヶ岡の2つの中学校区で1つの支援組織とし、また、村岡・大道・新林・大鋸・高谷の5小学校を加えて、学校関係者と保護者、地域の人たちで構成しています。



2019年11月23日(土)
藤ヶ岡中学校体育館

11月23日(勤労感謝の日)に「ふれあい音楽会」が開催されました。当日は冷たい雨が降るあいにくのお天気でしたが、会場の中には熱気ある演奏と参観の皆様の温かな雰囲気があふれていました。小学校1年生から中学生まで、7校の子どもたちが練習の成果を発揮し、生き生きと発表を行いました。

中学校の「パプリカ」の演奏に合わせて小学生が踊り出すというふれあい音楽会らしい微笑ましい情景も見られました。

ふれあい音楽会部会長 門河 玲子



高谷小学校 合奏(器楽クラブ)



村岡小学校 合奏(6年2組)



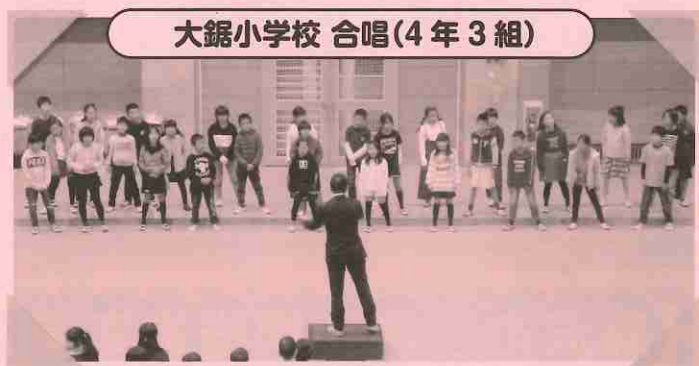
大道小学校 合奏(音楽クラブ)



新林小学校 合奏・合唱(5年生)



大道小学校 斉唱(1年1組)



大鋸小学校 合唱(4年3組)



村岡中学校 吹奏楽部(1・2年生)



藤ヶ岡中学校 吹奏楽部(1・2年生)



学校から地域に向けて

村岡小学校

校長 小林 秀夫

～学び合い・支え合い・つながる学校～

本校は学校制度ができた翌年(明治6年)の開校で、今年で146年になる村岡地区で最も古い学校です。そのため、在校生の児童の中には、代々村岡小学校に通っているという家庭も多くあります。

そして、歴史と自然に恵まれ、お住まいの方々の新旧に関わらず、「地域の学校」として温かな支援を頂いていることに感謝しております。

村岡地区は、地域での祭事、各団体の行事、安全安心の見守りなど、子どもたちの成長を支える地域環境として「ひと・もの・こと」が充実しています。

学校の教育活動においても、体験学習への協力として「竹細工」「福祉」「米作り」「キャリア教育」等、たくさんの学習を支えていただいています。

そのため、子どもたちは「心のやさしい子」「よく考える子」「元気な子」「最後までがんばる子」「自分に自信がもてる子」として日々成長を遂げています。

PTAや地域の方々の力により作られた「ころころ山」は村岡小学校の象徴として、これからは見守り続けてくれると思っています。



ころころ山 ▶



大道小学校

校長 門河 玲子

大道小学校は今年度で65周年を迎えました。藤沢小学校を借りて始まり2月に校舎ができて、今の場所に移ってきました。今は高いビルに囲まれています、その当時は畑や田んぼがあり、若尾山という砂丘も学校の裏にありました。そして、今も昔も変わらないのが、校庭の脇を通る東海道線の線路です。

今回65周年を記念して、学校の愛唱歌を作りましたが、その歌詞にも「線路沿いの青い屋根」「校庭に響く電車の音」などの言葉が入っています。電車の窓からも、市役所の窓からも、校庭で生き生きと活動する子どもたちの姿を見ていただければと思います。

藤ヶ岡中学校

校長 遠藤 冬実

日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。おかげさまで今年度も生徒たちの活躍を様々な場面で見ることができました。

今、生徒たちはSNS、ライン、メールなど対面しなくとも様々な思いや言葉が伝わってしまう状況に置かれています。自分の知られたくない苦しみや言いづらいことを知らない誰かが訊いてくれるということはある意味よいことなのかもしれません。しかし学校だけではお互いの顔を見て、言葉の様子、表情などから相手の気持ちを感じられるような人になってほしいという願いがあります。

地域の方々にもぜひ生徒たちの表情や様子を見て声をかけていただき、地域の生徒として関わりを持っていただければと考えています。

高谷小学校

校長 秦野 知己

「あいさつは、いつも笑顔で自分から。」高谷小の子どもが今年の「あいさつ運動ポスター・標語コンクール」で表彰されたポスターに添えられていた言葉です。ここ村岡は様々な活動を通して「ふれあい」を大切にし、子どもたちを見守り育ててくれる地域です。そして「ふれあい音楽会」での「ふるさと」の全員合唱。みんなであたたかく優しいふるさとと呼べる地域をつくらうという思いにあふれています。そんな地域の中に学校があることを、うれしく、心強く思っています。

「むらおかは、こえかけあうまち、ぼくのまち」(新林小1年生の作品)。そんな「ふるさと」を地域の皆さんと大切に育てていきたいと思っています。

大鋸小学校

校長 一瀬 今日子

大鋸小学校は、今年40周年を迎えました。昭和55年に、藤沢市で29番目の学校として開校しました。大鋸小の名前の由来は、鎌倉時代に、源実朝(みなもとのさねとも)という将軍が、宋【今の中国】に渡るための船の材木を大きな鋸(のこぎり)で切らせました。その大きな鋸を扱う人【大鋸挽き(おかびき)】を、この地に住まわせたことから、「大鋸(だいきり)」と呼ばれ、地名になりました。歴史的に由緒ある地名を学校名に取り入れ、大鋸小学校が誕生しました。

これまでに、3993人の児童が大鋸小学校を卒業しています。40周年を記念して、PTAの方々のご協力で、校庭のきんたろう壁の塗り直し、航空写真撮影、バルーンリリースなどを行いました。これからも、卒業生や地域の方々に見守られながら、子どもたちが元気に学校生活を過ごせるよう願っています。

新林小学校

校長 古島 そのえ

日頃から地域の皆様に、「おはよう」「いってらっしゃい」「おおきくなったね」とやさしく声をかけていただいている新林小学校の子どもたち。「新林小学校の子ども」は、「地域の子」であることに改めて気付かれます。このような温かいふれあいの中で育まれ、おかげさまで「挨拶がよくできる子どもたち」と褒めていただく機会が多くあります。

本当に多くの皆様に見守っていただき、安全・安心な学校生活を送ることができることに、心から感謝申し上げます。

今日も新林公園の自然に囲まれた校庭から、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

村岡中学校

校長 小池 規子

本校は、昭和55年(1980年)4月1日に市内14番目の中学校として、地域の人々に親しまれている「村岡」の名を取り入れ「村岡中学校」として開設されました。地域の皆様には、本校の教育活動を温かく見守っていただくとともに、あいさつ運動や放課後学習教室、緑化ボランティア、おやじの会など数々のご支援を賜り、地域とともにある学校として、今年で40年目を迎えております。

今年も、村中文化祭の地域交流、村岡ふれあいまつり、ふれあい音楽会、福祉バザーなどの世代を超えた交流により、生徒たちが多くを学ばせていただく貴重な機会を得ることができました。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。



むらおか・子ども相互支援会議 委員

【会 長】

石 井 陽 一 村岡地区自治町内会連合会推薦

【副会長】

小 林 秀 夫 村岡小学校校長
小 池 規 子 村岡中学校校長
廣 田 和 江 村岡地区青少年育成協会の会長
三 觜 忠 藤沢東部地区青少年育成協会の会長
高 久 進 藤沢東部地区自治会・町内会連合会の会長

【会 計】

山 口 美 紀 高谷小学校PTA
高 橋 郁 子 藤ヶ岡中学校PTA

【書 記】

山 田 勉 村岡小学校PTA
古 谷 千 恵 大道小学校PTA
長 野 聖 子 村岡中学校PTA

【監 事】

梶 浦 彩 子 新林小学校保健会
今 枝 京 子 藤沢東部地区主任児童委員

【委 員】

門 河 玲 子 大道小学校校長
古 島 そのえ 新林小学校校長
一 瀬 今日子 大鋸小学校校長
秦 野 知 己 高谷小学校校長
遠 藤 冬 実 藤ヶ岡中学校校長
中 村 杏 子 大鋸小学校PTA
大 谷 美津子 村岡地区青少年育成協会の会長
林 清 村岡地区社会福祉協議会の会長
望 月 隆 雄 村岡地区保護司
福 岡 則 夫 村岡地区防犯協会の会長
平 石 美 和 村岡地区主任児童委員
佐 藤 八千代 藤沢東部地区青少年育成協会の会長
山 田 里 佳 村岡地区主任児童委員
鈴 木 光 博 藤沢東部地区保護司

編集後記

「むらおか・子ども相互支援会議」の活動も19年が経過しました。今後とも、この活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

(編集委員一同)

ワイワイ広場



「からころけん玉」と「ハートのポプリケースづくり」

むらおか・子ども相互支援会議では、毎年、公民館事業「ワイワイ広場」で工作指導を行っています。

今年は、紙コップ2個とペットボトルのキャップを使って作る「からころけん玉」と、2枚のフェルトを編んで作る「ハートのポプリケース」を用意しました。からころけん玉は、青・緑・黄・ピンクの紙コップそれぞれにくまやペンギンなどの顔が描いてあるため紙コップを選ぶにも悩む子どもたち。また、ポプリケースを作るためのフェルトも色とりどりのため、組み合わせによってできあがる作品の表情も様々です。最後にポプリケースにキャンディを入れてもらい子どもたちはにこにこ顔でした。

その後、会場のホールでは早速、けん玉で遊ぶ子どもたち。会場内にからころと乾いた音が響いていました。

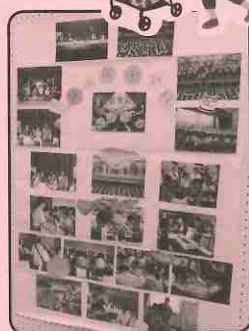
発信・共催事業部会長 廣田和江



村岡 ふれあいまつり

11月9日(土)・10日(日)、村岡公民館にて村岡ふれあいまつりが開催されました。会場は、館内の各所で様々なサークルや団体の発表や展示があり、屋外ではたくさんの模擬店が出て、多くの人々で賑わいました。

むらおか・子ども相互支援会議では、1階学習室で各小中学校の学校紹介を壁新聞形式で展示発表しました。壁新聞では各学校の特徴的な行事や学習の様子が写真や文章で紹介され、子どもたちの生き生きとした様子を見ることができました。この展示は、地域の



の多くの方たちにもむらおか・子ども相互支援会議の活動を知っていただける機会となっています。